

コロンビア経済情勢（7月）

【ポイント】

- 税制改革法案を国会に提出
- 財務・公債省は2022年予算案を公表
- 中央銀行は経済成長率を7.5%に修正

【本文】

1 主な出来事

<国内情勢>

（1）税制改革

（ア）政府は税制改革2.0で15兆ペソの税収を目指す（「ポルタフォリオ」紙、5日）

ドゥケ大統領は、緊縮財政、脱税対策、産業・商業税（ICA）の50%控除、法人税により15兆ペソを確保したいと述べた。これにより連帯所得プログラム、低所得者の高等教育無償化、18歳から28歳を対象とした雇用補助プログラムが行われる。

（イ）税制改革のポイント（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、14日）

税制改革により、産業・商業税（ICA）の50%控除で3.9兆ペソを、法人税を35%にすることで6.7兆ペソを、金融部門の3%課税で3.920億ペソを、海外資本の課税適正化で7.600億ペソを確保する。

（ウ）緊縮財政で6,500億ペソを確保（「ポルタフォリオ」紙、22日）

緊縮財政は、国会に提出された税制改革2.0の重要な柱の一つで、2022年には6,500億ペソを確保する見込み。政府の人事、物品・サービスの追加費用の制限と、サービス提供契約の見直しを提案とする。

（2）失業率低下と非正規雇用の増加（「ラ・レプブリカ」紙、1日）

国家統計庁（DANE）が公表したデータによると、今年5月の失業率は前年度比で21.4%から15.6%に低下し、労働市場が再活性化していることを示すが、このうち48.3%が非正規雇用であった。これは2020年5月の46.8%から1.5ポイントの増加で、雇用の非正規化が認められる。

（3）全国デモと感染対策は、第2四半期の経済回復に影響（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、2日）

政府は、2021年の第1四半期の経済成長率が、アナリストの予想を上回り、1.1%であった旨発表した。しかし、第2四半期については、数ヶ月続いている全国的なデモと新型コロナウイルスの感染対策による影響が出る可能性がある。Fedesarrolloが発表した4月の消費者信頼感指数は、▲34.2%であり、前月の▲11.4%と比較して、22.8%の低下となった。また、失業率も5月は15.6%となり、前月の15.1%と比較して0.5ポイントの増加となった。

（4）新型コロナウイルス対策に関する政府支出は2022年まで続く見込み（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、2日）

政府は、中期財政枠組（MFMP）において、「短期的な財政出動は、国の経済回復を実現し、

社会経済構造を強化するために不可欠であり、新型コロナウイルスによる経済危機は、経済の再活性化と貧困層への保護に関し、政府の短期的な介入を必要としており、介入がなければ経済的・社会的危機が深刻化するリスクがある」旨述べた。このため、2022年まではGDPの7%ほどの財政赤字が続くとみられ、2023年以降は4.7%となる見込み。

(5) 2021年上半期の住宅販売数は10万9,342戸(「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、「エル・ヌエボ・シグロ」紙、5日)

ガレリア・インモビリアリア社によると、2021年1月から6月までの住宅販売数は10万9,342戸と好調。5月時点で建築部門の95万3,000人の雇用に貢献。

(6) 29件の第四世代道路整備計画のうち10計画で85%以上の実施率(「ポルタフォリオ」紙、8日)

ドゥケ政権が力を入れている第四世代道路整備計画は、平均で57%実行されており、29計画の3分の1強の10計画では85%以上の実施率となっている。

(7) フィッチ・レーティング社は、コロンビアの投資適格を引き下げ(「ポルタフォリオ」紙、「エル・ヌエボ・シグロ」紙、2日)

フィッチ・レーティング社は、外貨及び現地通貨での長期債務の格付けをBBB-からBB+に引き下げた。これは、財政赤字及び公的債務の増加及び中期的な債務返済に関する不確実性によるものとされる。

(8) ラテンアメリカ開発銀行は、デジタルトランスフォーメーションの促進のためコロンビアに5億米ドルを投資(「ポルタフォリオ」紙、9日)

ラテンアメリカ開発銀行(CAF)は、コロンビアの公共部門のデジタルトランスフォーメーションの促進に関し、5億米ドルの融資を行うとした。これは、デジタルテクノロジーの戦略的利用の促進、高品質のデジタル公共サービスの提供、データと人工知能を活用した公共政策の改善に重点が置かれ、用いられる。

(9) 対外債務が8.98%増加(「ポルタフォリオ」紙、10日)

中央銀行によると、公的・民間の対外債務が4月に1,571億7,200万米ドルとなりGDPの51.9%を占め、2020年4月の1,442億1,800万米ドルと比べ8.98%増加した。公的債務は2021年4月に919億3,900万米ドルと前年同月の771億4,000万米ドルから19.18%増加し、民間債務は2021年4月に652億3,300万米ドルと前年同月670億7,900万米ドルから2.75%減少した。

(10) 政府の公的債務はGDPの61.7%に(「ラ・レプブリカ」紙、16日)

財務・公債省によると、6月の政府の公的債務は676.2兆ペソ(1,800億1,300万米ドル)、GDP比61.7%となり、5月の668.4兆ペソ、GDP比61%と比較し1.17%増加、昨年同月の585.1兆ペソと比較し15.6%増加した。このうち対内債務は413.4兆ペソ(1,100億6,300万米ドル)で公的債務の61.1%、GDP比37.7%で、対外債務は262.7兆ペソ(699億5,000万米ドル)で公的債務の38.9%、GDP比24%となった。

(11) 2021年前半の税収入は9.5%増加(「ポルタフォリオ」紙、13日)

国税・税関庁（DIAN）は、2021年の6か月の税収入は85.1兆ペソで前年同期の77.7兆ペソから9.5%増加とした。このうち所得税が28.3兆ペソ、付加価値税が19.1兆ペソ、関税が14兆ペソで72.3%に相当するとした。

（12）ボゴタ・クンディナマルカ地域のモビリティ計画を公表（「ラ・レプブリカ」紙、13日）

政府、ボゴタ市、クンディナマルカ県は、モビリティ改善を支援する43.5兆ペソ超の投資を伴う首都圏モビリティ計画を公表した。環境と生産性に寄与し、システムへの広域、良質な住民のアクセシビリティのある持続可能な公共交通ネットワーク計画とする。

（13）労働時間を短縮する法令に署名（「ポルタフォリオ」紙、16日）

ドゥケ大統領は、段階的に週の労働時間を48時間から42時間に短縮する法令に署名した。短縮により、賃金の引き下げや労働者の権利に影響を与えることはないとする。

（14）メガプロジェクトは3件進行中（「ポルタフォリオ」紙、18日）

経済再活性化戦略「コロンビアのための約束（Compromiso por Colombia）」は、533の計画で投資額109兆ペソ、440万人の雇用を目指す。このうち輸送インフラ計画が際立ち10件のメガプロジェクトで25兆3,200億ペソ、全体の23%を占める。

（15）コロンビアの貿易収支は赤字（「ポルタフォリオ」紙、19日）

国家統計庁（DANE）は、5月の輸入額が43億7,220万米ドルで前年同月比52%増加し、主に製造業が59.4%増加したことによるとした。内訳は、製造業77.4%、農産物・食料・飲料14.9%、燃料採掘製品7.6%、その他0.2%。また、5月の貿易収支は10億1,170万米ドル（前年同月4億9,130万米ドル）の赤字であった。

（16）全国デモによるコーヒー出荷の遅れ（「ラ・レプブリカ」紙、19日）

コロンビア・コーヒー生産者連合会は、コーヒーの輸出は全国デモの影響を受け前年同月比で5月は61%減少、6月は11%減少とした。また、80万袋のコーヒーの輸出が50日遅れたとした。ロベルト・ベレス（Roberto Vélez）同連合会会長は、全国デモ前の毎月100万袋を越える輸出から5月・6月で130万袋の輸出にとどまったとした。

（17）5月の全国デモは経済に影響（「ポルタフォリオ」紙、20日）

国家統計庁（DANE）によると、5月の成長率は前年同月と比べ二桁成長だったが、4月と比べ▲5.8%と成長が鈍化した。フアン・オビエド（Juan Oviedo）同庁局長は、全国デモの影響で、9産業のうち8産業で4月と比べ減少したとし、減少幅が大きいのは製造・建設業（▲16.9%）、農畜産・鉱業採掘業（▲9.9%）とした。

（18）外国投資計画はボゴタ、アンティオキア、バジェ・デル・カウカに集中（「ラ・レプブリカ」紙、26日）

プロコロンビアは、2021年1月から6月の間に110件、69億1,270万米ドルの新規・再投資計画があり、2020年同期間の56億4,700万米ドルと比較し22%増加とした。新型コロナウイルス流行の影響を大きく受けたボゴタ、アンティオキア、バジェ・デル・カウカに集中し、43億3,600万米ドルで、全体の63%を占める。

(19) CONPESはINVIASの経済再活性化計画2.0を承認(「ラ・レプブリカ」紙、27日)

国民経済社会政策評議会(CONPES)により、運輸省道路院(INVIAS)の「領土接続性、持続可能な成長と再活性化のための道路計画2.0」の投資計画の戦略的重要性を承認。このCONPES4039により再活性化計画2.0を構成する132の作業、1,900キロメートルの道路の改修が可能となる。

(20) 2022年予算の優先分野(「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、「エル・ヌエボ・シグロ」紙、30日)

財務・公債省は、2022年予算を350.4兆ペソとし、追加予算を含む2021年予算と比較し17.6兆ペソ増加とした。内訳は教育49.3兆ペソ、防衛41.9兆ペソ、厚生41.2兆ペソ、労働36兆ペソ、金融23.9兆ペソ、インクルージョンソーシャル21.7兆ペソで、前年度と比較し金融が9.3兆ペソ増加、防衛が4.3兆ペソ増加、労働が2.6兆ペソ増加。

(21) 金利を1.75%に維持(「ラ・レプブリカ」紙、30日)

中央銀行理事会は、政策金利を1.75%に維持する決定をしたと発表した。この決定は全国デモの影響が低下し、経済が成長傾向にあることを考慮して行われたとした。また、理事会は2021年の経済成長率を6.5%から7.5%に修正した。

(22) ボゴタメトロ2号線構築のための契約(「セマナ」誌他、7月31日)

ドゥケ大統領及びロペス・ボゴタ市長が参加して6月29日に発表イベントが行われた、ボゴタメトロ2号線(全長約15.8キロ(大部分が地下)、総額約13兆ペソ、約2百万人が裨益)について、同2号線の入札が2022年に行われ、8月に工事が開始される1号線の稼働から2年後の2030年の終了を見込む。また、国家開発銀行(FDN)は、7月30日、実現可能性調査と技術設計、プロジェクト実行契約モデルのための法的、財政的な構造化を行うための技術、財務、法務の専門のコンサルタントとしてUnión Temporal MOVIOUS - UT Movilidad Urbana Sostenible コンソーシアム(Garrigues Colombia S.A.S、Brigard & Urrutia Abogados、KPMG Advisory Tax & Legal S.A.S、Bonus Banca de Inversión S.A.S、Systra S.A. sucursal Colombia、Ingetec Ingeniería y Diseño)との契約を発表した。

<対外経済関係>

(1) 農業輸出額は19.2%増加(「エル・ヌエボ・シグロ」紙、9日)

牛乳、タヒチライム、牛肉、マンゴー、アボガドなどの非伝統的商品、花卉、コーヒーなどの伝統的商品の海外売上が増加し、2021年1月から5月までの輸出額は、37億8,400万米ドルとなり、前年同期比19.2%増加した。ロドルフォ・セア・ナバーロ(Rodolfo Zea Navarro) 農業・地方開発大臣は、非伝統的商品の海外売上高は19.5%増加し、伝統的商品のコーヒーは11億6,200万米ドル(25.1%増加)、花卉は8億4,000万米ドル(24.1%増加)とした。

(2) 太平洋同盟とシンガポールの自由貿易協定(「ラ・レプブリカ」紙、22日)

太平洋同盟とシンガポールは自由貿易協定の交渉を終えたと、7月21日のバーチャル会合でロンバーナ(María Ximena Lombana) 商工観光大臣により発表された。同大臣は、本協定が太平洋同盟とシンガポール、アジア太平洋の間の商品物流を強化するツールとなり、商取引の

補完関係、投資誘致、政府調達を促進するとした。

主な経済指標

経済活動指標	2020/05	2021/3	2021/4	2021/5
国内総生産(四半期)(DANE): %	-15.8	1.1	17.6	17.6
経済活動指数(DANE): %	-16.0	12.4	26.0	12.1
経済活動指数第1次産業(DANE): %	-11.7	5.1	9.4	2.6
経済活動指数第2次産業(DANE): %	-28.3	24.7	80.1	9.4
経済活動指数第3次産業(DANE): %	-13.3	11.0	20.4	14.3
エネルギー需要(XM): GWh	5,642	6,233	6,004	6,015
エネルギー需要ー前年同月比(XM): %	-6.7	3.6	15.4	6.4
雇用				
全国平均失業率(DANE): %	21.4	14.2	15.1	15.6
主要13都市失業率(DANE): %	24.5	16.8	17.4	16.6
消費				
消費者信頼感指数(FEDESARROLLO): %	-34.0	-11.4	-34.2	-34.3
実質小売売上高指数(DANE): %	-26.8	20.1	75.0	22.8
自動車販売台数(単月)(ANDEMOS): 台	8,933	22,933	19,033	14,716
自動車販売台数(年内累計)(ANDEMOS): 台	60,414	56,971	76,004	90,720
物価				
消費者物価上昇率ー前年同月比(DANE): %	-0.32	0.51	0.59	1.00
消費者物価上昇率ー前年比(DANE): %	2.85	1.56	1.95	3.30
生産者物価上昇率ー前月比(DANE): %	1.25	2.53	1.12	3.21
ガソリン価格(ボゴタ)(鉱山省): ペソ/ガロン	8,286	8,847	8,847	N/A
生産				
実質工業生産指数(DANE): %	-26.2	20.7	63.7	8.6
実質工業売上高指数(DANE): %	-25.2	21.1	60.8	5.6
新規建設着工承認面積(DANE): m ²	920,966	1,748,737	1,552,982	1,724,026
コーヒー生産量(FNC): 千袋(60Kg)	1,186	1,050	810	N/A
コーヒー生産量ー前年同月比: %	6	30	9	N/A
コーヒー価格(IOC)/ 11月から "SUAVE": USD	155.82	179.15	181.68	196.26
石油生産量(日量)(鉱山省): バレル	732,276	745,428	745,488	703,481
石油生産量ー前年同月比(鉱山省): %	-18.1	-13.0	-6.4	-3.9
石油生産量(日量・年内平均)(鉱山省): バレル	829,563	745,533	745,522	737,114
石油価格WTI: USD / バレル	28.56	62.33	61.72	65.17
金融				
政策金利(中央銀行): %	3.25	1.75	1.75	1.75
為替 月初(中央銀行): COP	3,932.72	3,624.39	3,678.62	3,740.14
為替 月末(中央銀行): COP	3,718.82	3,736.91	3,712.89	3,715.28
為替 最高値(中央銀行): COP	3,990.10	3,736.91	3,717.46	3,846.28
為替 最安値(中央銀行): COP	3,718.82	3,534.62	3,595.57	3,655.74
株式指数 月初(中央銀行): COP	1,105.43	1,355.70	1,323.97	1,216.62
株式指数 月末(中央銀行): COP	1,095.84	1,316.81	1,250.65	1,200.90
株式指数 最高値(中央銀行): COP	1,113.37	1,356.98	1,335.89	1,311.73
株式指数 最安値(中央銀行): COP	1,052.23	1,314.46	1,250.65	1,182.18
貿易				
貿易収支(FOB)(DANE): 百万米ドル	-491	-1,241	-1,443	-1,006
輸出額(FOB)(DANE): 百万米ドル	2,221	3,384	2,959	3,102
輸出額(FOB)ー前年同月比(DANE): %	-40.7	38.7	58.5	39.7
輸出額(FOB)年内累計(DANE): 百万米ドル	12,888	8,936	11,895	14,997
輸入額(CIF)(DANE): 百万米ドル	2,877	4,935	4,697	4,372
輸入額(CIF)ー前年同月比(DANE): %	-39.9	37.5	51.7	51.9
輸入額(CIF)年内累計(DANE): 百万米ドル	17,860	12,661	17,358	21,730
労働者送金(中央銀行): 百万米ドル	448	789	678	717